

進路だより 2025

第 11 号

2025年 6月 17日(火)
沖縄県立真和志高等学校
進路指導部

今年の3月に真和志高校を卒業し、沖縄大学と女子短期大学へ進学した元みらい福祉科の生徒が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを実施！参加できなかった生徒は、この新聞を読んで将来に備えた方がいいと思いますよ〜？



「緊張したけど、これめっちゃいい企画ですね！やってほしかった」

2025年3月に卒業し、沖縄大学と女子短期大学へ進学した元みらい福祉科の生徒。同じ進路を夢見る後輩のため、トークイベントを実施！



在校生「本当に為になった！」

イベント終了後、今回の機会をとっても良かったと笑みを浮かべていた生徒へ「どこが良かったか」を伺うと、「学食が安くて美味しいとか。レポートのバッチは告知されないとか。進学相談会では教えてくれなかったことを知れたこと」と答えてくれました。

閲覧ありがとうございます！

mawashi high school
沖縄大学と女子短期大学へ
進学した先輩と話そう

福祉版

「大学は自由ってさ、一見聞こえはいいけど逃れられない責任が背後にいるんだよ。」

沖縄大学、女子短期大学へ進学した元みらい福祉科の生徒が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを進路主催で実施。話に熱を帯びる卒業生と合わせたように、在校生はメモを沢山残していました。

今回の大学生は3名。沖大の2名は「高校の先生は手助けしてくれるけど、大学の教授は忙しくて簡単に捕まらないうし教えてくれない。聞く力が自分にならないと、ずっと分らないまま損をする」、「3つ単位を落としたり、奨学金が停止する」。女子短の卒業生は、「授業を5回休んだら、テスト受けることができない」など、失敗したら取り返しの付かない話を話っていました。

大学生に向いていない人はどんな人？という質問に、「サボり癖がある人。学校を休む人。夢や目標が明確になく、大学は遊ぶところなど目的を間違えている人」とそれぞれ答えていました。履修登録の話では、「国語って教科だけで、何種類も授業がある。その中からシラバスをみて、自分にあう授業を探さないといけない。」と、真和志高校の履修登録とは違う点を教えてくれました。

3人それぞれが、「今回どうしても伝えたかったこと」を持って後輩のために話してくれた一時間。長期目標を決めて、それを叶える為に必要な小さい目標を立てられるようになってくださいと締めました。